

他大学図書館紹介

弘前学院大学附属図書館 「畏神愛人」の名の下に

弘前学院大学附属図書館長 佐藤 和博

弘前学院大学附属図書館は、1971年に大学文学部が開設されて以来、大学と短期大学に附属する施設として設置されている。初め、1970年に現在地（稔町）にキャンパスを移転した際、1号館4階の一角に置かれていたが、1982年に弘前学院創立100周年記念事業の一環で、独立した建物として建てられた。その後、書庫等の拡張を必要として、1993年に増改築され、面積を倍増し現在に至っている。

2階建ての本学図書館の延床面積は1280平方メートル、蔵書数10万7612冊（2015年3月末現在）、閲覧室座席数は156席となっている。

図書館の1階フロアは、すべて書庫として使われており、2階に司書室、第1から第4閲覧室、大学院生用閲覧室、教員用閲覧室、利用者検索用端末機（3台）及びインターネット用端末機（3台）等が設置されている。

2階に上がってきた学生、教職員を迎えるのは、ガラスケースの中に開かれておかれている「ゲーテンベルク42行聖書」（復刻版）である。この聖書こそ、「畏神愛人」を建学の精神とする本学院の図書館の顔といえる。この聖書の前に立つたびに、

建学の精神についての思いを新たにするのである。

本学図書館の収書は、当然ながらキリスト教関係、及び専門学科との関わりから英米文学、日本文学の文献・資料が多く、また、1999年に開設された社会福祉学部関係の文献・資料、2005年に設置された看護学部関係の文献・資料に特化されていると言える。

開館時間は、月曜日から金曜日まで、9:00～17:00、土曜日は、9:00～14:00となっている。また、20:00まで時間延長する場合があります、学生、教職員の便宜を図っている。

一年生向けの授業（基礎演習）の中では、積極的に図書館の利用法を扱っており、小さなグループが教員に引率されて、説明をうけながら館内を一巡りした後で、端末操作の練習をする姿が、春にはよく目撃される。また、上級生になれば、学生グループで、パソコンを持ち込み、小閲覧室の中で演習の下調べをしたり、討論したり、プレゼンテーションの準備をしたりする姿も見られるようだ。いずれにしても、学生、教職員に大いに利用してもらえれば、館長としてはこの上ない喜びである。



ゲーテンベルク42行聖書（復刻版）

